

平成 29 年度第 1 回鹿児島県男女共同参画審議会の会議結果の概要

開催日時	平成29年10月5日(木)午後2時から午後4時まで		
開催場所	県庁10階会議室(10-総-1)		
出席委員	石田尾博夫, 大木順子, 大庭直美, 小栗有子, 鹿島直子, 笹山義弘, 島田秀樹, 下夷憲一, 末永順子, 武隈晃, 田中佐和子, 田畑千穂子, たもつゆかり, 淵上真友美, 前田幸一, 室之園晃徳(計16人)		
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	0人
問い合わせ先	県民生活局 男女共同参画室(直通電話:099-286-2634)		
議 事	1 「第3次鹿児島県男女共同参画基本計画(仮称)」素案について		
会議の概要	<p>1 「第3次鹿児島県男女共同参画基本計画(仮称)」素案について</p> <p>計画の素案について事務局から説明を行い, 委員から意見を伺った。委員からの意見については事務局において整理の上, パブリック・コメントを実施することになった。</p> <p>委員からの主な意見は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の男性の育児参画を進めるためには, 県の男性職員の育児休業取得促進等, 行政が積極的に見本となるような形で推進してほしい。 ・ FLOWER(性暴力被害者サポートネットワークかごしま)について計画に反映してほしい。 ・ 健康支援について, 男女共同参画の視点から見た男性の健康上の問題についてももう少し盛り込んだほうがよい。 ・ 素案において, 成人教育という側面が弱い。また, 学校教育と社会教育の連携に関する記述も深める必要がある。 ・ 人手不足の一方で長時間労働の削減といった, 相反するようなことをどう進めていくのかということは, 大きな課題である。設備投資による生産性の向上, 業務改善等について働きかけていく必要がある。 ・ 労働政策について, 国の所管であり, 国が専門的に実施するという意識が市町村にあるのか, 労働分野を扱うところが非常に弱いと感じる。今回の大きな特徴である職業分野における取組を進めるためには, 市町村が事業所に確実に情報をつなぐような環境整備について, 実施事業において位置付ける必要がある。 ・ 働く意欲を高め, 昇進意欲にもつながるよう仕事へのやりがいや達成感を高めるような取組も必要。 ・ 教育現場における男女共同参画の視点に立った教育の推進について, 一層その方法や内容について検討を行ってほしい。 ・ 人工妊娠中絶実施率について, 10代の現状について数値目標をとっているが, 本県においては, 30代, 40代も高い現状にあり, キャリア形成をはじめその要因は様々考えられるとすれば, 一つの所管では難しいところ。関係課が問題意識を持っておく必要がある。 ・ 推進体制の下, 施策の進行管理の徹底をお願いしたい。 ・ 次期計画では市町村レベルの展開が大事な柱になる。鹿児島の地域特性, 地理的特性について基本的な考え方の中にいれたほうがよい。 ・ 各委員, 職員が, それぞれの所属において, 本日の審議会で議論された内容のことを伝え, この計画が活かされるような取組につなげてほしい。 		